

◎ 道徳部門

1 研究主題

「特別の教科道徳の実施に伴う授業づくり～道徳的価値を深める発問づくり～」

2 基本方針

- (1) 研究委員会を年2回、道徳授業づくり研修会を夏季休業中に1回開催し、天草管内の道徳教育の充実・発展に資するための活動を行う。
- (2) 熊本県道徳教育研究会、熊本県天草教育事務所等との連携を図る。

3 活動内容

- (1) 6月15日(金) 第1回研究委員会
 - ア 天草教育研究所部門別会長会報道
 - イ 九州地区道徳研究大会・熊本県道徳教育研究大会について
 - ウ 本年度の事業計画作成
- (2) 7月23日(月) 道徳授業づくり研修会準備委員会
 - ア 「道徳授業づくり研修会」企画・打合せ(役割分担)
- (3) 8月8日(水) 「道徳授業づくり研修会」
 - ア 場所 天草教育会館
 - イ 内容 道徳の授業づくりについて
 - ウ 参加者 67名
 - エ 日程
 - ・講義 道徳の授業づくりについて
 - ・授業マイスターによる模擬授業
 - ・校種ならびに学年別グループによる展開案作成
 - ・模擬授業ならびにグループ協議
 - ・会長による指導ならびにまとめ
- (4) 12月11日(火) 第2回研究委員会
 - ア 年間活動並びに反省
 - イ 次年度の方向性の検討

4 まとめ

夏季休業中に終日の「道徳授業づくり研修会」を実施することができた。本年度さらに参加者が増え、道徳教育への関心の高まりが窺えた。本年度は「中心発問づくり」を研修の中心に据えて実施した。研究員による発問づくりの方法についての理論研修(40分)のあと、授業マイスター天草市立本渡南小学校の櫻井裕子教諭による模擬授業(45分)を参加者全員に実施した。

その後、低学年が「おれたものさし」(4班)、中学年は「ぼくらだってオーケストラ」(4班)、高学年が「崩れ落ちた段ボール箱」(4班)、中学校が「海と空」(4班)の教材について合計16班で展開案づくりを行った。

まず個人で検討し、その後教材ごとにワークショップ形式で交流し、最後は小学校(低・中・高)と中学校に別れ、15分の模擬授業を行い、中心発問について協議した。

最後に、道徳教育の現状等と日々の道徳の授業づくりについて会長からまとめを行った。

参加者からは、「模擬授業で道徳科の進むべき方向性が大体理解できた。」「午後の発問づくり道場で受けた会長からの指導が役に立った。」「もっと、研修の時間を長く、講話や協議をしたかった。」などの声があった。日々の授業で一番の勝負どころはやはり発問であると考え。今後、教師自身が、考え、議論しながら道徳の授業づくりを行うことで、道徳の授業の充実につながる一助となる研修会を行っていきたい。

